



Halloween in Japan：授業アイデア（簡単版）

日本のハロウィン（渋谷）をテーマにした英語の授業アイデア 2本

Class _____ No. _____ Name _____

1. 仮装で自己紹介：I'm a ____ from ____!

小学校・15分

🎯 仮装のキャラクターになりきり、I'm ~. / I like ~. / I can ~. で英語の自己紹介をする。

1. おばけ・ゾンビ・ネコ・海賊などのお面やカードを用意し、英語の名前を練習する。
2. 好きなカードを1枚選び、I'm a ghost. I like candy. I can fly. の3文を作る。
3. クラスを歩き回って自己紹介し合い、Nice costume! とほめ合う。

2. お月見泥棒 vs トリック・オア・トリート：くらべて紹介しよう

中学・25分

🎯 日本と海外の似た風習を比べ、共通点と相違点を英語で説明する。

1. 本文第4段落とお月見泥棒の説明を読み、いつ・だれが・何をするかを表にまとめる。
2. トリック・オア・トリートについても同じ表を埋める（October 31, children, say "Trick or treat!"）。
3. Both _____. / But in Japan, _____. の型で、共通点とちがいを1つずつ英語で書く。
4. グループで発表し、自分の地域に似た風習がないか話し合う。



1. 仮装で自己紹介：I'm a ____ from ____!

授業手順書（詳細版）／対象：小学校／15分

Class _____ No. _____ Name _____

🎃 ねらい

仮装のキャラクターになりきり、I'm ~. / I like ~. / I can ~. で英語の自己紹介をする。

📦 準備

- キャラクターのお面カード（ghost 🧛 / zombie 🧟 / cat 🐱 / pirate 🏴‍☠️ / bat 🦇 / pumpkin 🎃 など、人数分より少し多め）
- 基本セット p.3 のマッチングの絵（pumpkin / ghost / zombie / candy / moon / bat）
- 自己紹介の3文を書いたカード（I'm a ghost. / I like candy. / I can fly.）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	3	お面やカードを1枚ずつ見せて、ghost, zombie, cat, pirate などの英語を言わせる。10月31日はハロウィンで、日本では大人もたくさん仮装することを伝える。	キャラクターの英語をまねて言う。	"October 31 is Halloween." "Ghost. Zombie. Cat. Pirate. Repeat." "In Japan, many grown-ups wear costumes too!"
展開1	4	先生がお面をつけて I'm a ghost. I like candy. I can fly. と自己紹介の見本を見せる。児童に好きなカードを1枚選ばせ、同じ形で3文を考えさせる。like のあとや can のあとに入れる言葉の例を板書する。	好きなキャラクターを1つ選び、自己紹介の3文を考える。	"Hello! I'm a ghost. I like candy. I can fly." "Choose your card." "What do you like? What can you do?"
展開2	6	お面やカードを持ってクラスを歩き回らせ、出会った友だちと自己紹介し合う。聞いた人は Nice costume! とほめてから自分の自己紹介をする。できるだけたくさんの友だちと話すよう声をかける。	クラスを歩き回り、キャラクターになりきって自己紹介し、Nice costume! とほめ合う。	"Walk around and meet your friends." "Say your three sentences." "Then say, Nice costume!" "How many friends can you meet?"
まとめ	2	何人かに前で自己紹介してもらおう。日本には、十五夜の夜に子どもが家を回ってお菓子をもらう「お月見泥棒」という、トリック・オア・トリートに似た風習があることを一言紹介する。	前で自己紹介し、お月見泥棒の話を聞く。	"Who wants to try in front of the class?" "Great job! Nice costume!" "Japan has something like trick-or-treating. It's called Otsukimi Dorobo."

📝 板書例

🎃 Happy Halloween! 🎃

🧛 ghost 🧟 zombie 🐱 cat 🏴‍☠️ pirate 🦇 bat

I'm a ____.

I like _____. (candy / pumpkins / the moon)

I can _____. (fly / jump / dance)

→ Nice costume!

✅ 評価のポイント

- I'm a ~. / I like ~. / I can ~. の3文で自己紹介できたか。
- 友だちの自己紹介を聞いて、Nice costume! と反応できたか。
- たくさんの友だちと進んでやりとりできたか。

👉 つまづきへの手だて

- 3文が言えない子には、I'm a ~. の1文から始め、慣れたら2文目を足す。
- like や can のあとの言葉に困る子には、黒板の例から選ばせる。
- 歩き回るのが苦手な子には、先生といっしょにペアを作って回る。

🚀 発展

- 基本セット p.8 のなぞり書きで、pumpkin / ghost / candy などを行なう。
- 基本セット p.6 の迷路（Help Mei get to the costume party!）に取り組む。
- 基本セット p.5 の単語探して、ハロウィンの単語を探す。

📖 使う教材

- 基本セット p.3（マッチング）
- 基本セット p.5（単語探し）
- 基本セット p.6（迷路）
- 基本セット p.8（なぞり書き）



2. お月見泥棒 vs トリック・オア・トリート：くらべて紹介しよう

授業手順書（詳細版）／対象：中学／25分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

日本と海外の似た風習を比べ、共通点と相違点を英語で説明する。

準備

- 基本セット p.1（読解）を1人1枚
- このサイトの英語ページの音声と会話（ジャックとメイの会話）
- 比較表のワークシート（項目：When? / Who? / What do they do? / What do they say?）
- アクティビティ集 B5（国比べ）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	3	「日本の子どもはハロウィンに家を回ってお菓子をもらう？」と聞く。英語ページの会話で、メイが In Japan, kids don't usually go from door to door. と言っている部分を確認し、最後のせりふ（おばあちゃんの町のお月見泥棒）に注目させる。	会話を聞き、日本とアメリカのハロウィンのちがいと、お月見泥棒という言葉聞き取る。	"Do kids in Japan go trick-or-treating?" "Listen to Jack and Mei." "Mei's grandma's town has something special. What is it?"
展開1	7	基本セット p.1 の第4段落を読ませ、お月見泥棒について、いつ・だれが・何をするか・何と言うかを表にまとめさせる。子どもは月からの使いと考えられていたことも確認する。	第4段落を読み、お月見泥棒の情報を表に書く。	"Read paragraph 4." "When do children do Otsukimi Dorobo?" "What do they say? Otsukimi dorobo desu!" "Long ago, people thought they were messengers from the moon."
展開2	5	トリック・オア・トリートについても同じ表を埋めさせる（October 31, children, go from door to door, say "Trick or treat!"）。B5 のアメリカの行も参考にしよよい。	トリック・オア・トリートの情報を表に書き、お月見泥棒と並べる。	"Now fill in the table for trick-or-treating." "When? October 31." "Who? Children." "What do they say? Trick or treat!"
展開3	6	Both _____. / But in Japan, _____. の型で、共通点とちがいを1つずつ英語で書かせる。グループで読み合い、代表が発表する。	共通点とちがいを英語で1文ずつ書き、グループで発表する。	"Write one thing that is the same. Both" "Write one thing that is different. But in Japan," "For example, both are for children."
まとめ	4	自分の地域に似た風習がないかグループで話し合わせる。家の人に聞いてくることを宿題にしてもよい。本文の最後の一文 Old customs and new ones are not so different after all. を読んで終える。	自分の地域に似た風習がないか話し合う。	"Do we have a custom like this in our town?" "Ask your family tonight." "Old customs and new ones are not so different after all."

板書例

Otsukimi Dorobo 🍡 vs Trick or Treat 🍬

Otsukimi Dorobo	Trick or Treat
When? the harvest moon night	October 31
Who? children	children
What? visit houses, get sweets	go from door to door, get candy
Say? Otsukimi dorobo desu!	Trick or treat!

Both _____.
But in Japan, _____.

評価のポイント

- 本文から、お月見泥棒のいつ・だれが・何をするかを読み取れたか。
- Both _____. / But in Japan, _____. の型で、共通点とちがいを書けたか。
- 自分の地域の風習に目を向けて話し合えたか。

つまづきへの手だて

- 本文が難しい生徒には、和訳を見ながら表の項目に当たる部分に下線を引かせる。
- Both の文が書けない生徒には、Both are for children. / Both give sweets. の例から選ばせる。
- ちがいが見つからない生徒には、「日にち」「言うことば」の2つに注目させる。

発展

- アクティビティ集 B5（国比べ）で、フィリピンのウンダスなど、ハロウィンのころの世界の行事を書き足す。
- 英語ページの討論の問い（日本ではなぜ大人がハロウィンを楽しむようになったか）について意見を書く。
- 基本セット p.4 のクロスワードに取り組む。

使う教材

- 基本セット p.1（読解）
- 基本セット p.4（クロスワード）
- アクティビティ集 B5（国比べ）
- このサイトの英語ページの音声と会話